

# 平成30年(2018年)東京港港勢(速報値)

(平成30年1月～12月の集計)

## ● 取扱貨物量

	30年速報値	前年実績	前年比
総数	91,543 千トン	90,780 千トン	100.8%
出賃	29,040 千トン	29,300 千トン	99.1%
入賃*	62,503 千トン	61,480 千トン	101.7%
外賃貨物	49,828 千トン	50,116 千トン	99.4%
輸出	13,289 千トン	13,509 千トン	98.4%
輸入	36,539 千トン	36,608 千トン	99.8%
内賃貨物	41,716 千トン	40,664 千トン	102.6%
移出	15,751 千トン	15,792 千トン	99.7%
移入	25,964 千トン	24,872 千トン	104.4%

\*過去最高

### 1 外賃・内賃の全体概況

取扱貨物量は、外内賃全体で前年比100.8% (以下、ことわりのない限り「前年比」とする。)と増加した。

- ・外賃貨物では、輸出が98.4%、輸入が99.8%と輸出入ともに減少し、全体では99.4%であった。
- ・内賃貨物は、移出が99.7%、移入が104.4%で、全体では102.6%であった。

## 2 外賃貨物

### (1) 輸出

#### ①国別

マレーシア、インドネシアなどとの取扱貨物量が増加したが、中国、ベトナムなどとの取扱貨物量が減少した。

#### ②品種別

品種別で見ると、自動車部品、金属製品等が増加し、再利用資材、金属くず等が減少した。

### (2) 輸入

#### ①国別

台湾、ベトナムなどとの取扱貨物量が増加したが、フィリピン、チリなどとの取扱貨物量が減少した。

#### ②品種別

品種別で見ると、金属製品、産業機械等が増加し、家具装備品が減少した。

## 3 内賃貨物

### (1) 移出

完成自動車、重油等が増加し、廃土砂、再利用資材等が減少した。

### (2) 移入

完成自動車、セメント等が増加し、紙・パルプ等が減少した。

## ● 外賃コンテナ貨物

	30年速報値	前年実績	前年比
貨物量	47,984 千トン	48,152 千トン	99.7%
輸出	12,770 千トン	12,950 千トン	98.6%
輸入*	35,214 千トン	35,202 千トン	100.0%
個数	* 4,570,795 TEU	4,500,302 TEU	101.6%
(実入・空の計)	輸出* 2,117,463 TEU	2,074,794 TEU	102.1%
輸入*	2,453,332 TEU	2,425,508 TEU	101.1%

\*過去最高

## 外賃コンテナ貨物

### (1) 貨物量(トンベース)

コンテナ貨物は、輸出が98.6%、輸入が100.0%で、全体では99.7%であった。

### (2) 個数(TEUベース、実入・空の計)

輸出が102.1%、輸入は101.1%と輸出入ともに増加し、全体では101.6%であった。

## ● 入港船舶

	30年速報値	前年実績	前年比
隻数	24,375 隻	23,604 隻	103.3%
総トン数	* 183,112 千総トン	174,746 千総トン	104.8%

\*過去最高

## 入港船舶

入港船舶の隻数は、103.3%の24,375隻であった。

入港船舶の総トン数は、104.8%の183,112千総トンであった。

\*\*四捨五入の関係上、合計値が合わない場合がある。